

環境活動レポート



〔2010 年度版〕

（対象期間：2010/9～2011/8）

2011 年 10 月 20 日作成

木田工業株式会社

目 次

1. 環境方針	2
2. 会社概要	3
3. 環境目標とその実績	5
4. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価と次年度の取組内容	6
5. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 環境方針

環 境 方 針

基本理念

私たちは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを全員で認識し、企業活動のあらゆる場面で、地球環境の保全に取り組み、地球環境と調和した持続可能で豊かな社会の形成に貢献します。

行動指針

1. プラスチックの切削加工、その他、全ての事業活動において生じる環境への負荷を低減するために、環境経営システムを確立し環境活動の継続的改善を行います。
2. 全ての部門で次の削減に取り組めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物排出量の削減
 - 3) 水使用量の削減
 - 4) 化学物質使用量削減
 - 5) グリーン購入
 - 6) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮
3. 不良の低減、端材の工夫活用による材料削減で、使用材料の効率化を図ります。
4. 私たちは、環境に関する法律、規制、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守し、地球環境との調和、並びに汚染予防に努めます。
5. 環境方針は、全ての従業員、及び当社に直接関わる人々に周知し、環境保全活動推進への意識を高め、よき地域企業として社会に貢献します。
6. 環境活動レポートを広く一般に公表します。

制定：2009年10月 1日

改訂：2011年 7月 1日

木田工業株式会社

代表取締役社長 **木田 豊**

2. 会社概要

2.1 事業所名及び代表者名

木田工業株式会社

代表取締役社長 木田 豊

2.2 事業所の所在地及び認証・登録範囲

所在地	認証・登録範囲の該否
東京都大田区矢口 1-5-8	該当

2.3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 部長 熊井戸富美男

担当者 品質保証部 熊井戸富美男

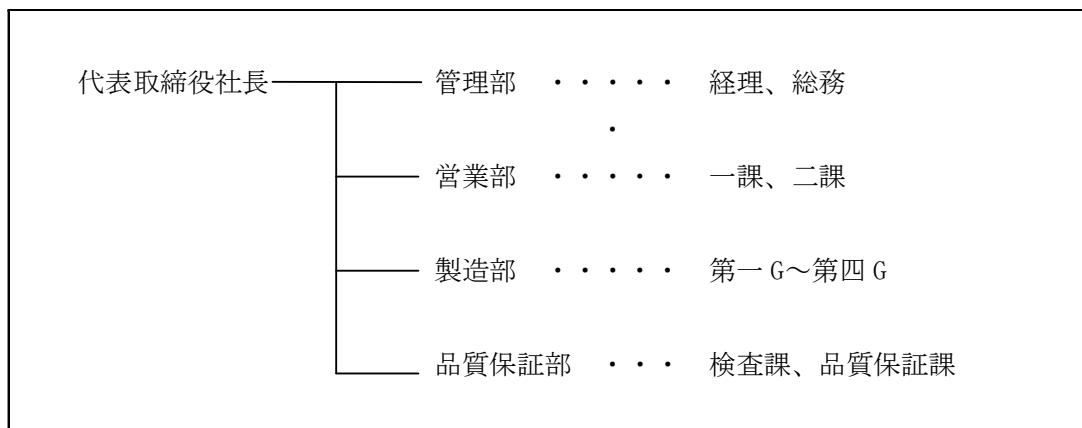
連絡先 電話 03-5741-7410 F A X 03-5741-7413

E-mail f-kumaido@kida-i.com

2.4 事業活動の概要

プラスチック製品の切削加工及び組立（エンジニアリングプラスチックパーツの製造を含む）

2.5 会社の組織



2.6 事業の規模

(1) 資本金

2,000 万円

2) 主要製品の生産量・出荷量（ 2010年度：2010/9～2011/8）

製品名	生産量・出荷量 (kg)
アミューズメント用外装品	12,578
その他プラスチック切削加工品	72,684

(3) 従業員数

社員 46名 パートタイマー 14名 合計 60名

(4) 事業所の敷地・建屋面積

敷地面積	建屋延べ床面積
1,140 m ²	3,185 m ²

2.7 施設等の状況

[主な機械・検査設備及び車両等]

設備名	能力仕様	台数
マシニング	300×300×300 ~ 2050×1060×800	27
NC旋盤	φ25 ~ φ320	20
旋盤	φ230 ~ φ720	10
NCフライス	700×350 ~ 750×400	7
フライス	400×150 ~ 750×400	3
溶接ガン		5
NCドリラー		2
プレーナ		3
パネルソー		2
バフ機		4
鏡面機		1
その他、生産設備		18
三次元測定機		1
輪郭形状測定機		1
画像寸法測定器		1
車両	ガソリン車	6
車両	ハイブリット車	1

2.8 許認可・届出の内容

許認可・届出の区分	名称	許認可・届出先	年月日
許認可	工場設置認可申請書	大田区長	H19.11.6
届出	特定施設設置届出書	大田区長	H19.11.6

3. 環境目標とその実績

環境目標	取組項目	基準値		2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度	2012年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減 ②化石燃料使用量の削減	2008年度 実績 247.5 Kg-CO ₂ /百万	目標	基準値の 1.2%削減 244.5 Kg-CO ₂	同左 6.3%削減 231.8 Kg CO ₂	同左 8.4%削減 226.7 Kg CO ₂	同左 9.1%削減 225.0 Kg CO ₂
			実績	2.2%削減 242.1 Kg-CO ₂	7.9%削減 228.0 Kg CO ₂		
			達成	○	○		
2. 廃棄物排出量の削減	廃棄物のリサイクル及び最終廃棄物の削減(リサイクル率向上)	2008年度 実績 58.1 % リサイクル量/ 総排出量	目標	基準値の3 ポイント改善 59.8%	同左 4P改善 60.4%	同左 5P改善 61.0%	同左 5.5P改善 61.3%
			実績	3P改善 59.8%	4.6P改善 60.8%		
			達成	○	○		
3. 水使用量の削減	水の効率的な利用	2008年度 実績の維持・ 継続0.93/人 [m ³ /月]	目標	基準値の 維持・継続 0.93/人	同左 0.91/人	同左 0.91/人	同左 0.91/人
			実績	0.81/人	0.85/人		
			達成	○	○		
4. 化学物質使用量の削減	化学物質の適正な管理(定期的確認)	・ジクロロメタン ・トルエン (2品種管理)	目標	年間使用量の把握実施	3か月毎に使用量の把握管理を行う	同左	同左
			達成	○	○		
5. 製品及びサービスに関する環境配慮	計画納入の推進	納期順守率の把握と管理	目標	—	85%以上	同左	同左
			実績	—	85.3%		
			達成	—	○		
6. グリーン購入	購入用紙のECOP化推進	購入用紙のECO比率(参考)	目標	—	59.4%	59.4%	60.0%
			実績	59.4%	52.7%		
7. 地域環境全活動の推進	地域清掃活動	2008年度 実績なし	目標	清掃の啓蒙 隔月清掃	毎月清掃 社員に展開	同左	同左
			実績	朝会で徹底 隔月清掃	朝会で啓蒙 毎月清掃※		
			達成	○	○		

(※) 地域美化活動風景



4. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価と次年度の取組内容

項番	取組項目	具体的活動内容	○ △ ×	取組結果の評価	2011年度の取組
1.	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の分析 デマンド値管理 設備の待機電力調査 	○ △ ○	<ul style="list-style-type: none"> 管理可能な電力を明確にできた 冬場で管理目標値をオーバー 	<ul style="list-style-type: none"> 冬場のエアコン温度管理の徹底 照明電力の効率化(II)
	②化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 高燃費車への入替検討 エコドライブの徹底 	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 営業車3台の入替 エコドライブの徹底で計画比112%達成 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの徹底 車毎の燃費の把握検討
2.	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 端材の効率的な活用 プラスチック材料の分別化推進 プラスチック廃材のサーマルリサイクル 	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 活用度を定期把握 分別率向上のため分別ガイド修正 埋め立て処分からサーマルリサイクルへ転換 	<ul style="list-style-type: none"> 廃材の分別精度の更なる向上 廃材のRPF化の取組
3.	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 水使用の実績をグラフ化し、取組の成果実感と啓蒙推進 	○	<ul style="list-style-type: none"> 継続して水使用量を抑制することができた 	<ul style="list-style-type: none"> 機会(朝会や掲示物)ある毎に啓蒙し、使用量の抑制を図る
4.	化学物質使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用化学物質を適正に管理(種類と使用量)している事を定期的に確認 	○	<ul style="list-style-type: none"> 品種と使用状況を10年6月から3カ月毎に確認 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して3カ月毎に確認実施
5.	製品及びサービスに関する環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> 計画納入(納期順守率)を管理する事が結果として環境に優しいことから、納期順守率の管理を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 部署や担当者別ではバラツキはあるものの、全体としては目標をクリア 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して目標をクリアする様取組む
6.	グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 購入用紙のE C O化推進取組み 	△	<ul style="list-style-type: none"> 年度の中で、予想を超える非E C O用紙を購入の為 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入の追加検討
7.	地域環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動に対する啓蒙 継続的な清掃活動の推進(一般従業員迄展開) 	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動のPRを通して、継続的な清掃の風土が出来上がりつつある 	<ul style="list-style-type: none"> 月一回の活動を継続して取組む

5. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

5.1 環境関連法規の遵守状況確認と評価結果及び違反

当社に適用される環境関連法規等については、平成23年8月31日遵守状況の確認と評価の結果、違反等の問題がないことを確認しております。

(確認関係法令・条例：廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の処理及び再利用に関する法律、循環型社会形成推進基本法、資源の有効な利用の推進に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、東京都生活環境保全等に関する条例、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律、消防法、大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例)

5.2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟又は関係当局からの指摘等は過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

【全体評価】

2年目を迎えた本年は、各々の環境改善取組みにおいて着実に前進していると実感している。

二酸化炭素排出量は、全体として目標を達成する事ができた。特に化石燃料消費量は、基準年度(2008年)比較で33%の改善が図られた。

又、廃棄物排出量は全員の努力の結果、リサイクル率の目標を達成する事ができた。

【見直し】

1) 使用電力量は、前年度比4.1%の改善は図られたものの、目標達成には届かなかった。

2) 廃棄物排出量は、資源の有効利用の観点から更なるリサイクル(RPF化)の取組が必要である。

※使用電力・廃棄物排出の環境取組については、引き続き更なる努力を求めて行く。

以上